

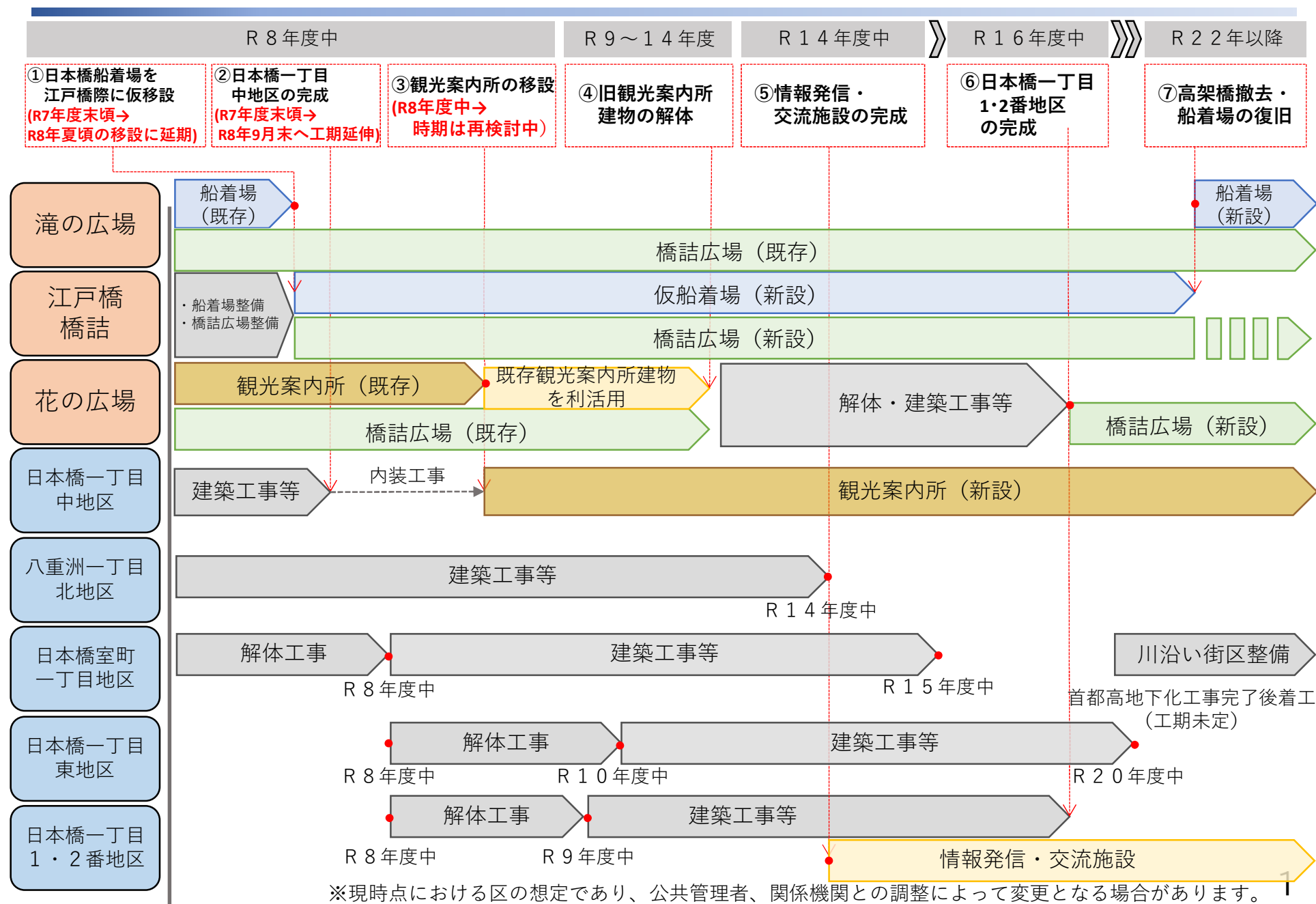
今後の日本橋周辺のスケジュール等について

令和7年12月時点

- | | | |
|--------|----------------------------|-----------------|
| 資料 5-1 | 今後の日本橋周辺のスケジュール、調整事項について | 【中央区】 |
| 資料 5-2 | 日本橋船着場の仮移設に伴う施設整備について | 【中央区】 |
| 資料 5-3 | 日本橋川沿い再開発 5 地区における検討状況について | 【5 地区正副理事長会事務局】 |

1 今後の日本橋周辺のスケジュール 〈前回資料を更新〉

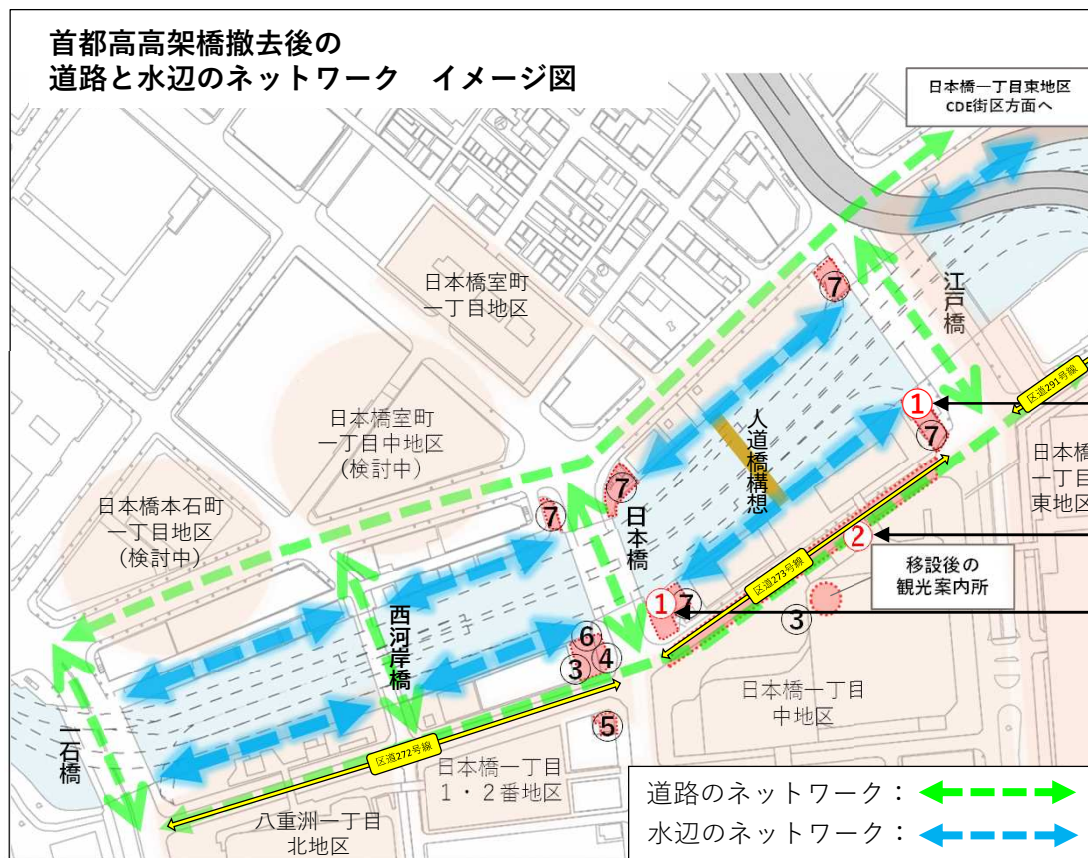
資料 5-1



2 船着場移設等に伴う日本橋周辺の調整事項について

〈前回資料を更新〉

今回の議題は、①日本橋船着場を江戸橋際へ仮移設することに伴う施設整備について、
②区道272,273,291号線の歩車道の舗装・街路樹等の道路修景内容等についてです。



①日本橋船着場を江戸橋際へ仮移設 資料5-2

- ・にぎわい創出のための滝の広場周辺の活用方法
- ・日本橋から仮船着場への案内方法

②日本橋一丁目中地区の完成 資料5-3

- ・舗装、街路樹等の道路修景内容
(区道272,273,291号線)

③観光案内所を中地区へ移設

- ・移設後の観光案内所の活用方法
- ・船着場、観光案内所への案内方法

④旧観光案内所建物の解体

- ・解体までの旧観光案内所建物の利活用

⑤情報発信・交流施設の完成

- ・観光案内所等との連携方法 (役割分担)

⑥日本橋一丁目1・2番地区の完成

- ・花の広場の修景内容

⑦高架橋撤去、船着場の復旧

- ・滝の広場、乙姫広場、元標広場、江戸橋橋詰
(上流側)の修景内容
- ・川沿いの道路の統一的な修景内容

日本橋周辺において、さらなるにぎわいを創出し、
回遊性の高い道路・水辺のネットワークを形成

日本橋船着場の仮移設に伴う施設整備について

日本橋橋詰（滝の広場）

- さらなるにぎわい創出を目指し、情報発信力の高いデジタルサイネージ（LEDビジョン）の設置を検討。
- 日本橋から仮船着場への案内のほか、舟運の活性化を図るための舟運情報や、まちの魅力を広く発信するための地域の観光情報等を表示。

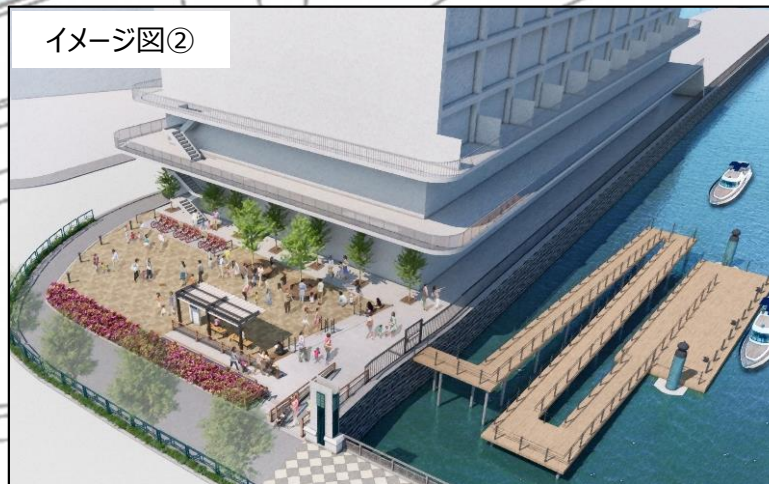
イメージ図①



江戸橋橋詰

- 水辺で憩える滞留空間を創出。
- 現況の「滝の広場」の機能保持をベースに、船着場の利便性向上を目的とした、デジタルサイネージ(液晶型)、ベンチ、パーゴラ等の施設整備を検討。
- 隣接する日本橋一丁目中地区と連続的な歩行空間を整備予定。

イメージ図②



イメージ図③



※各橋詰の整備内容は、関係行政機関等との協議・調整を図り決定。

資料の都合上、船着場仮移設後も、一定期間残る日本橋川上空にある首都高速道路は、描写していません。

1. 区道、川沿いプロムナードの設えについて

5地区正副理事長会事務局

(1) 日本橋川沿いエリアにおける景観・デザインの考え方について



左記の考え方を基本として、日本橋川を並行する右岸側の道路、川沿いの遊歩道の景観・デザインを説明

対象としている
【道路】

区道272号線、
区道273号線、
区道291号線

【川沿いの遊歩道】

一石橋～西河岸橋～日本橋～江戸橋までの川沿いプロムナード

日本橋川沿い再開発5地区における検討状況について

1. 区道、川沿いプロムナードの設えについて

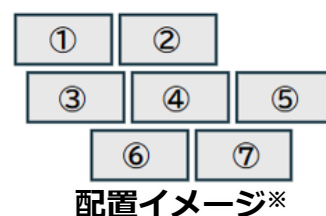
(2)区道272号線、区道273号線、区道291号線

- 東京駅から名橋日本橋の橋詰広場をとおリ、さらに東側へ、東西をつなぐネットワークとして、桜並木の中で人々が歩いて楽しい街路空間とする
- イベント時には、周辺の橋詰広場や公開空地とも一体的な場として利用できる空間とする

車道・歩道／舗装

歩道／段差

- かつて都電の敷石として使われていた花崗岩を使用し、日本橋の石舗装や中央通りの歩道の石舗装に合わせ、複数の色味を組み合わせたデザインとし、更に石を小割にすることで人々のスケールにあった空間とする
また、各地区の個性や賑わいが際立つよう、色味はグレーを基本とする
- エリアでの一体的な回遊や利活用を生み出すために、歩車道をセミフラット構造とする。
- すべての人が、安全・安心に歩行できるように、バリアフリー等に配慮する
- 耐久性等に配慮した構造等を検討する



※現時点のイメージのため今後変更の可能性があります

日本橋川沿い再開発5地区における検討状況について

1. 区道、川沿いプロムナードの設えについて

(2)区道272号線、区道273号線、区道291号線

歩道／植樹

- 既存東西の桜(ソメイヨシノ)のネットワークを意識し、名橋日本橋の橋詰広場のランドマークになっている桜を中心としたソメイヨシノの桜並木とする
- 樹木の配置間隔は、街路灯の間隔や桜の生息状況等を考慮した間隔とする



既存の桜(ソメイヨシノ)の東西ネットワーク



日本橋橋詰広場を中心とした桜並木のイメージ



※現時点のイメージのため今後変更の可能性がありますが

日本橋川沿い再開発5地区における検討状況について

1. 区道、川沿いプロムナードの設えについて

(2)区道272号線、区道273号線、区道291号線

歩道／防護柵・街路灯・その他道路付属物

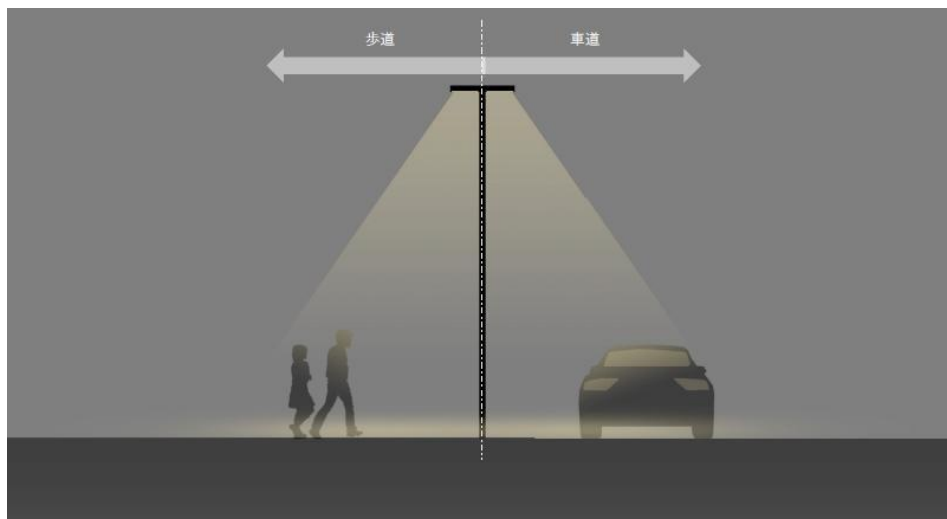
- 各街区の賑わいや個性、桜並木を引き立てるため、防護柵や街路灯についてはシンプルな形状とし、色はグレー調とする
- 将来の交通量を鑑みて、人中心の道路として、民地内広場等と連続する歩車道の一体的な利用が出来るよう防護柵は、安全性を確保すると共に、脱着可能で運搬に配慮した仕様とする
- 夜間も安全で賑わいのある人中心の通りに相応しい、十分な照度の確保と歩車道の明るさの差のないT型の街路灯とする
- 街路灯は趣があり暖かみのある空間となる色温度として、夜間の景観の連続性に配慮する



脱着式防護柵



歩車道の明るさの差のない街路灯のイメージ



※現時点のイメージのため今後変更の可能性があります

日本橋川沿い再開発5地区における検討状況について

1. 区道、川沿いプロムナードの設えについて

(2)区道272号線、区道273号線、区道291号線

■日本橋一丁目中地区 区道273号線整備イメージ(中央通りから昭和通り方面を臨む)



※現時点のイメージのため今後変更の可能性があります

日本橋川沿い再開発5地区における検討状況について

1. 区道、川沿いプロムナードの設えについて

(3)川沿いプロムナード

- 魚河岸として賑わった日本橋川に親しみ、川を中心とし、人々が川沿いに憩うことのできる連続した空間とする

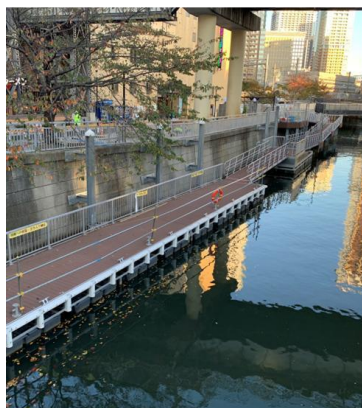
親水空間/舗装

- 江戸～明治期と舟運で繁栄した日本橋川中下流域に位置しており、平田舟をはじめ、多くの舟が係留され荷揚げや河岸の取引が行われた歴史を彷彿させる、甲板に見立てた木材を利用したデッキで構成する
※木材については耐水性等に配慮を行い、全ての人が安全で快適に歩行できるよう、バリアフリー等に配慮する

第3回本連絡会資料抜粋



プロムナードの木材舗装のイメージ



※現時点のイメージのため今後変更の可能性がありますが

日本橋川沿い再開発5地区における検討状況について

1. 区道、川沿いプロムナードの設えについて

(3)川沿いプロムナード

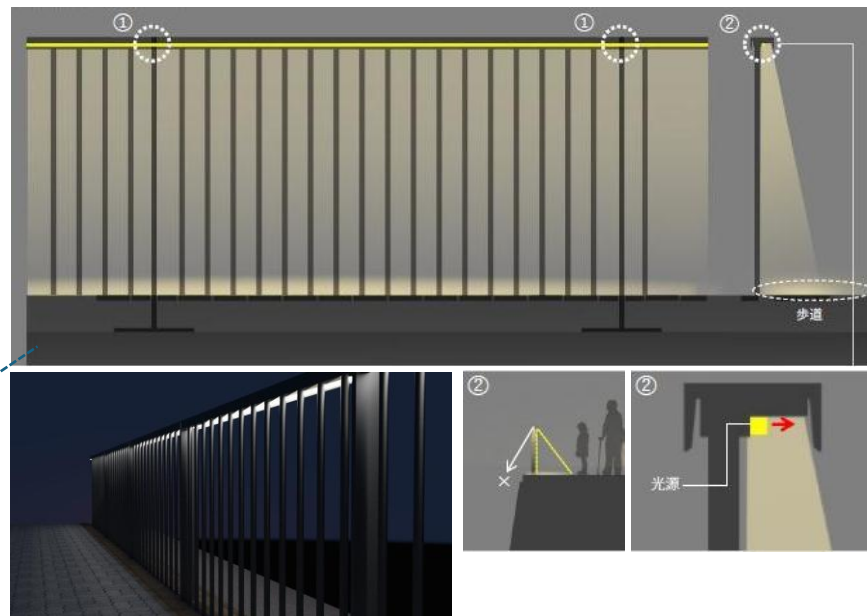
親水空間/転落防止・照明・ベンチ

- 水辺のプロムナードに設ける転落防止柵は、子供の落下等の安全性に配慮した縦桟形状とし、手摺子は細く、色は主張しないグレー調とすることで、川への視認性に配慮する
- ベンチなどのストリートファニチャー等については、連続して統一された舗装や並木に対し、アクセントとなるよう各街区の個性を持たせる要素として、各々の空間特性に応じたデザインとする
- 水辺のプロムナードに設ける手摺は笠木下部に器具を設置し、直接光源の見えない照明とすることで、水平方向の川沿い景観の連続性を創出する
- 照明の色温度については調和をはかり、夜間の景観の連続性に配慮する

プロムナード等手摺イメージ



水辺のプロムナード等 手摺照明イメージ



※注記

- ①手摺の支柱によって光源が出来る限り途切れてしまうことがないように設置する
- ②歩道側に光源を設置し歩行面が明るくなるようにし、器具を横付けに設置することで歩行側へ向けて間接的な光を床面に落とし水面への映り込みを防ぐ

※現時点のイメージのため今後変更の可能性があります